

質 問 回 答 書

2024 年 5 月 31 日

「ブータン国建設人材育成システム構築プロジェクト」

(公示日:2024 年 5 月 22 日/調達管理番号:24a00230)について、質問と回答は以下の通りです。

通番号	当該頁項目	質問	回答
1	第 4 条 業務の内容 2. 本業務にかかる事項 【 本格活動 実施フェーズ】 15 ページ目	「活動1-1に育成する技術者、技師、技能工の分野を特定する。」としていますが、説明書では技術者と技能工の人材育成に絞られています。技師についての人材育成は必要ないという理解で問題ありませんか？	技術者および技能工の人材育成を想定しています。ただし、詳細計画策定フェーズを通して育成対象を特定する中で必要に応じて技師を対象とすることを否定するものではありません。
2	第 4 条 業務の内容 2. 本業務にかかる事項 【 本格活動 実施フェーズ】 15 ページ目	企画競争説明書で研修モジュール、研修体系、研修プログラム、研修コース、カリキュラムの言葉が記載されています。受け止め側に理解の齟齬が生じる可能性があるため、それぞれの違いを説明ください。 また、上記に関連しますが、研修モジュールの作成は、表 2 に示す基礎14コース、応用 2 コース、合計 16 コースについて研修モジュールを16 作成するという理解でよろしいですか？それとも基礎コース、応用コースで1ずつ作成するという理解でよろしいですか？	研修体系: 研修を構成する要素の組み合わせを指しています。 研修コース: 基礎14コース、応用2コースで想定される各分野の研修を指します。 カリキュラム: 各研修コースにおける研修生の技術習得に向けて教育内容や学習支援を総合的に計画したものを指します。なお、研修プログラムについてはカリキュラムと読み換えて頂いて差し支えありません。 研修モジュール: 各研修カリキュラム内において座学の講義、現場 OJT 実習、建設工事サイト見学等を組み合わせて構成される研修を指します。 研修のコースは表 2 に示す基礎14コース、応用2コース、合計 16 コースのカリキュラムを作成しま

			す。なお、研修のコース数及び内容については、詳細計画策定フェーズにおいて改めて C/P と調整を図ったうえで設定して頂きます。(特記仕様書(案)第4条2. ①成果1 活動1-2に記載のとおりです。)
3	<p>企画競争説明書 30 頁 案件概要表 3. 事業概要 (7)投入(インプット) 及び 企画競争説明書 40 頁 2. 業務実施上の条件 (2)業務量目途と業務従事者構成案 1)業務量の目途</p>	<p>企画競争説明書 30 頁の「(7)投入(インプット)」には、日本側短期専門家の人月について「合計約 86.5M/M」と記載がありますが、企画競争説明書 40 頁の「(2)業務量目途と業務従事者構成案 1)業務量の目途」には「約 87.1 人月」と記載がございます。どちらが正しいでしょうか。</p>	<p>本件の業務量目途は、企画競争説明書 40 頁(第3章2. 業務実施上の条件(2))に記載の 87.1 人月です。</p>
4	<p>p.13) 第4章 業務の内容</p>	<p>「類似業務:土木分野(特に道路や橋梁)の建設、施工管理に係る各種業務」とありますが、土木分野に係る計画・設計、施工監理、施工支援に係る技術協力についても評価されますでしょうか。</p>	<p>「類似業務:土木分野(特に道路や橋梁)の建設、施工管理に係る各種業務」に、施工監理や施工支援に係る技術協力に関しても含みますので、これらも評価の対象といたします。なお「計画・設計のみの経験は評価対象としません。</p>
5	<p>p.39) 第3章 プロポーザル作成に係る留意事項 1.プロポーザルに記載されるべき事項 (1)コンサルタント等の法人としての経験、能力</p>	<p>本業務の上位目標及びプロジェクト目標については「別紙:案件概要表」の「4.事業の枠組み」に記載の内容と理解してよろしいでしょうか。</p>	<p>はい。その理解で差し支えありません。</p>

以 上